





商工労働部 成果報告

商工労働部長 北村真治

部局達成度

			
2	7		18
2	3		10 (うち観光文化局分)

総括

商業の振興では、市内商業者の商圈維持・拡大のため、オールフクイLINE@を活用した情報発信、抽選会等の企画を実施しました。

企業立地の推進では、積極的な企業訪問や企業立地フェアへの出展などの取組のほか、社会経済の動向や人口減少等の課題に対応するため、支援制度を見直しました。

産業振興及び中小企業等の支援では、ふくい嶺北連携中枢都市圏の経済成長をけん引するため、圏域内の企業間連携に繋がる新製品や新事業の創出を支援するとともに、繊維産業の新製品の開発及び商品化や、国内外の販路開拓に取り組みました。

企業の労働力の確保に繋がるよう、学生や社会人等を対象に、福井で働く魅力を仕事と生活の両面から発信し、地元企業への就職を促進しました。また、若者や女性等が、能力を発揮し安心して働き続けられるよう、職場環境の整備に取り組む企業への支援を行いました。

公営競技事業では、関東・南関東への要請、営業活動に注力したことにより場外発売の強化や、前年度に引き続きミッドナイト競輪を行うことで、F・Fグレードで年間の車券売上額を伸ばすことができました。しかし、競輪場の全体収入の半分を占めるGが、新型コロナウイルス感染症対策により無観客開催となったことで、売上額が目標に達しませんでした。

来年開催予定の東京オリンピック・パラリンピック、そして令和5年春に控える北陸新幹線福井開業、さらには中部縦貫自動車道全線開通、令和7年の大阪・関西万博開催を福井への誘客拡大につなげる好機とするため、発地（首都圏や関西・中京など）と着地（福井）に分けて観光施策の充実を図った『新・観光振興計画』を策定しました。この計画に基づき、北陸新幹線福井開業に向けて観光関連団体、企業、そして市民が一体となったオール福井で事業を実施していきます。

多文化共生の推進では、改正入管法の施行により更なる増加が見込まれる外国人市民が、日本人市民と共に安心して暮らせる地域づくりを進めるため、第3次多文化共生推進プランを策定しました。また、インバウンド誘客では、外国人観光客を受け入れるための環境整備を実施し、台湾を中心とした海外からの誘客に取り組みました。

文化芸術の振興のため、市民が主体となって実施する文化芸術活動に対し支援するほか、各施設において記念特別展や企画展、関連イベントなどを多数実施し、特に美術館では開館以来最高の入館者数を記録するなど、観光誘客を図りました。

令和5年の北陸新幹線福井開業などの機会を捉えて、連携中枢都市圏域内の各市町と連携し、戦略的なプロモーションに努め、通過型観光から交流滞在型観光への転換を図り、本市への観光誘客拡大を目指します。

組織目標ごとの達成状況

・中小企業者や創業者への支援及び企業立地を推進し、地域の商工業の振興を図ります

商工業の振興では、市内商業者の商圈維持・拡大のため、オールフクイLINE@を活用した情報発信、抽選会等の企画を実施しました。会員登録数は目標を下回りましたが、連携する商業者や企業の拡大を図った結果、新たにふくい嶺北連携中枢都市圏内の商業者が加盟するなど、オールフクイの体制を強化することができました。

今後も、消費者にとって魅力的な企画を継続して実施し、市内商業者の商圈維持・拡大に努めます。

企業立地の推進では、福井市企業立地戦略に基づき、積極的な企業訪問や東京事務所との連携による企業立地フェアへの出展などを通じて、本市の強みや立地支援制度を情報発信するなどの取組を進めた結果、企業立地支援指定数の目標を達成しました。

来年度も、企業訪問や企業立地フェアへの出展を東京事務所と連携して行い、企業立地を推進するほか、社会経済の動向や人口減少等の課題に対応し見直した支援制度の有効活用を図ります。

中小企業や創業者については、金融機関及び経済団体等との情報交換を行い、市内企業者の意見や情報を収集するとともに、関係機関と連携を図りながら支援を行いました。中小企業の活動は活発でしたが、生産性向上に資する設備投資への支援件数や市内創業者数、「ふくいの恵み」認定商品販売額等で目標を達成することができませんでした。

来年度も、生産性向上のための設備投資を重点的に支援するとともに、連携中枢都市圏全体の経済成長に向けて、より多くの事業者の積極的な取組を支援していきます。

・中心市街地における商機能等を充実し、賑わいの創出を図ります

中心市街地では、再開発事業等が進むとともに、飲食業を中心に新規出店も見られるなど、北陸新幹線福井開業を見据えた民間事業者の活動が活発化しています。

このような中、民間主体の賑わいづくりを促進するため、アップルロードやガレリアポケット等、まちなかの公共空間におけるオープンテラスやイベントにより回遊性向上を図ってききましたが、歩行者通行量は目標を達成できませんでした。リノベーションによるまちづくりでは、地域の価値向上につながる魅力的な出店により、新たな人の流れが生まれたほか、「ディスカバリー福井」では、都市人材や学生の参加により、公共空間のリノベーションについて魅力的な事業が提案されました。来年度も、「ディスカバリー福井」を引き続き開催し、更なる担い手の育成とリノベーションによる出店を促進し、まちの魅力向上を図っていきます。

・ U・Iターン就職の促進や就労機会の創出を図るとともに、仕事と家庭が両立できる雇用環境づくりを推進します

U・Iターン就職を促進するため、学生やU・Iターン希望の社会人等を対象に福井で働く魅力を仕事と生活の両面から発信しましたが、就職者数は目標を達成することができませんでした。しかしながら、県外企業への就職割合が高くなっている現状があることから、今後も、就職支援サイト「おしごとネット」の活用や就職支援協定を締結した首都圏の大学との連携強化を行いながら、U・Iターン就職の更なる促進に取り組めます。

就労機会の創出については、奨励金等の交付のほか、就職支援のための相談会やセミナー、ハローワークと連携した面接会を開催し、若者や女性などの就職者数は目標を達成しました。

高齢者の能力を活かすため、シルバー人材センターへの支援を通じて高齢者に就業機会を提供した結果、センター会員の就業率は目標を達成しました。

働き方改革（ワークライフバランス）の推進では、奨励金等の交付のほか雇用管理セミナーなどを開催した結果、目標を達成しました。引き続き、働きやすい職場環境の整備の重要性について周知・啓発していきます。

・ 公営競技事業において新たな顧客の獲得と収益確保に努めます

一般会計への繰出金は、年度末のレースが無観客開催となり年間車券売上額が前年度を大きく下回ったことから、確保することができませんでした。

福井競輪にとって6年ぶりとなるGグレードのウィナーズカップが4日間開催されましたが、2月27日以降、新型コロナウイルス感染症対策における政府の方針を受け、本場では無観客での開催となり車券発売も中止となりました。また、場外や専用場外でも車券発売が中止となったことで、ウィナーズカップの開催で目標としていた車券売上額を大きく下回りました。

しかし、G以外の本場開催では、Fを6節18日、Fを6節18日、ミッドナイト競輪を4節12日開催し、車券売上額が前年度と比較すると大きく上回ることができました。これは、これまでに関東や南関東を重点的に要請や営業活動を行ってきた成果であり、今後も引き続き行っていくことで、安定した車券売上額を確保していきます。

<観光文化局担当>

・() 食や自然・歴史など福井らしさで観光客を増やします

来年開催予定の東京オリンピック・パラリンピック、そして令和5年春に控える北陸新幹線福井開業、さらには中部縦貫自動車道全線開通、令和7年の大阪・関西万博開催を福井への誘客拡大につなげる好機とするため、発地（首都圏や関西・中京など）と着地（福井）に分けて観光施策の充実を図った『新・観光振興計画』を策定しました。

コンベンションについては、県内外の主催団体や旅行会社等への営業活動を行うとともに、コンベンション誘致を強化するため、県や他市町と協議し、開催助成金制度を今年度から拡充しました。

一乗谷観光客入込数については、昨年2月にNHKの番組であるプラタモリで取り上げられたこと、GWが10連休であったこと、無料定時ガイドや熱気球係留バルーン搭乗体験などの朝倉サマーイベントの開催といった新しい取組を実施したことなどにより、前年と比較して大きく増加しました。

まちなかでは、「ふくい桜まつり」や「福井フェニックスまつり」など季節ごとのイベントを実施し、昨年2月に一乗谷朝倉氏遺跡とともにまちなかがNHKの番組「プラタモリ」で取り上げられ、また、大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公である明智光秀にゆかりの地としても注目を集めていることから、観光客入込数が増加しました。

越前海岸では、新たに越前海岸（越廼地区）のイメージ動画を作成し、インターネットで情報発信するとともに、越前町、南越前町と連携し、水仙まつりや日本海の食をPRする浜の活井事業を実施するだけでなく、越前海岸ならではの素材を活かした体験観光イベントを実施し、さらに大都市圏での合同出向宣伝等を行うことで観光客誘致を図りましたが、海水浴離れや異常気象などの影響もあり、観光入込数は減少しました。

令和5年の北陸新幹線福井開業などの好機に向けて、連携中枢都市圏域内の各市町との連携をさらに深め、戦略的なプロモーションを行うとともに、通過型観光から交流滞在型観光への転換を図り、本市への観光誘客拡大を目指します。

・() 福井の魅力を磨き、市民や観光客が福井の魅力にふれる機会を増やします

おもてなし講習会を、今年度から対象者を連携中枢都市圏域11市町の観光事業者や市町民などに広げて開催し、オール福井で県外観光客を迎えるきっかけとなりました。

観光おもてなしマイスター向けの実践力向上研修では、今までに認定したマイスターが所属する分野でのトップリーダーになってもらうため、実地研修や観光地研修を実施しました。

福井を訪れた人が最初に接する機会の多いタクシー乗務員のための研修を実施し、接客術のレベルアップを図りました。

「第6回感動おもてなし大賞」では、初めて連携中枢都市圏域内の一般市民を表彰するなど、連携中枢都市圏域でのおもてなし市民運動の機運醸成につながりました。

・() 様々なツールによる情報発信を行い、福井の知名度やイメージの向上に努めます

今年度放映開始したNHKの大河ドラマの主人公「明智光秀」ゆかりの地である可児市で開催された「山城サミット」へ参加し、一乗谷城のプロモーションを行うことで、本市への誘客に繋がりました。

旅行会社や出版社への営業では、人的ネットワークを構築するとともに、本市の観光素材を発信し、雑誌等の掲載や旅行商品化に繋がりました。また、SNSでの情報発信として、イベント情報をインスタグラム等により発信しました。

今後、『新・観光振興計画』に基づき、連携中枢都市圏域の魅力ある観光資源を首都圏等でPRするとともに、来訪者には、福井の日々の暮らしの中にあふれるいろいろな「福」を感じてもらえるよう取り組んでいきます。

・() 多文化共生の地域づくりに取り組むとともに、インバウンド誘客の強化を図るための環境を整備し情報発信を進めます

更なる増加が見込まれる外国人市民と日本人市民の多文化共生を推進するため、第3次多文化共生推進プランを策定しました。策定にあたっては、在住外国人へのアンケート調査や、保育・教育現場等での聞き取り調査等を行い、外国人市民の現状とそれに伴う課題を把握し、施策に反映しました。

本市の国際化を推進するための取組として、姉妹都市から招聘している福井市国際文化交流大使を公私立の保育園、幼稚園等や各地域で行われた行事等に派遣しました。引き続き、市民の国際理解を高め、多様性のある豊かなまちを目指す取組を実施します。

インバウンドでは、台湾をターゲットとして、台北市内で開催された商談会や国際旅行博での観光PR、現地旅行代理店への営業訪問を実施したほか、台湾最大規模の日本観光情報サイト「楽吃購(ラーチーゴ)！日本」に福井旅行の記事を掲載するなど、個人旅行者に向けた情報発信にも取り組みました。

また、福井を訪れた外国人が旅行しやすい環境を整備するため、観光事業者等に向けた外国語表記や無線LAN設置に対する支援、外国人観光客をビジネスにつなげるためのインバウンドセミナーを実施しました。北陸新幹線福井駅開業に向けて、引き続き地域住民と一体となった取組を実施します。

・() 文化芸術活動を支援するとともに、文化や歴史、自然を活用した観光誘客を進めます

文化芸術の振興のため、福井市文化協会が主催する福井市民文化祭や童謡の日さわやかコンサートなど、市民が主体となって実施する文化芸術活動に対し支援を行いました。

また、文化会館の舞台調光装置を整備するとともに、築50年が経過した会館の老朽化調査を実施しました。その結果、文化会館を令和2年度末で閉館し、フェニックス・プラザを代替施設とする方針を決定しました。


養浩館庭園では、文化団体や地元住民、ボランティア団体等の協力を得ながら、魅力向上のためお茶席や庭カフェの開催やライトアップなどを実施しました。また、20周年を迎えた愛宕坂茶道美術館では記念イベントや特別展を開催しました。橘曙覧記念文学館では、立地する足羽山をテーマに企画展を、グリフィス記念館では朗読会やグリフィスの功績を紹介する事業を実施し、観光誘客を図りました。


観光と文化の連携強化として、大河ドラマの主人公である明智光秀にスポットをあてたモニターツアーを実施し、交流人口の増加に努めました。


ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の文化資源「城」をテーマにパンフレットを作成し、来年度以降も活用しながら圏域内市町の交流人口増加や観光誘客を図っていきます。


各施設においては、特別展や企画展、関連イベントを多数実施し、特に美術館では開館以来最高の入館者数を記録するなど、観光誘客を図りました。


・中小企業者や創業者への支援及び企業立地を推進し、地域の商工業の振興を図ります


1	商業の振興	達成度	
実 行 内 容			
目 標	市内商業者の商圈維持・拡大のため、商業者が一体となったオールフクイ体制で実施する共同企画を支援するとともに、「オールフクイLINE@」を活用して広く消費者にお得な情報を発信し、市内商業の活性化に努めます。		
	取 組 内 容	<p>オールフクイLINE@会員対象抽選キャンペーン及び「オールフクイの日」クーポンの配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1日に1万円相当の商品券等が抽選で3名に当たるキャンペーンを配信 ・オールフクイの趣旨に賛同する連携企業を募り、11月から抽選の賞品を提供（6社） ・毎月15日に各商業施設で利用できるクーポンを配信 <p>本市の文化施設と連携事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設：美術館、郷土歴史博物館、自然史博物館、橘曙覧記念文学館、愛宕坂茶道美術館 ・オールフクイLINE@会員に各文化施設の特別展・企画展の入場料割引クーポンを配信 <p>消費喚起のためのオールフクイ加盟施設等への集客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超大型連休中の共同販促企画「オールフクイ感謝祭」の実施（4/27～5/6） ・年始の共同販促企画「オールフクイお年玉キャンペーン」の実施（12/26 新聞広告掲載） <p>オールフクイ組織強化の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「オールフクイ異業種交流会」の実施（7/16、参加者100人） ・オールフクイ実行委員会に武生楽市が加盟（10/1～） <p>キャッシュレス決済との連動によるキャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「オールフクイ with PayPay大抽選キャンペーン」の実施（9/20～24） ・「オールフクイ x auPAY総額100万円分還元キャンペーン」の実施（3/20～31） 	
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>オールフクイLINE@会員登録数（累計）</p> <p>： 5,680人（平成30年度）</p> <p>10,000人（令和元年度）</p>		<p>オールフクイLINE@会員登録数</p> <p>： 7,969人</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>今年度は、これまで実施してきたオールフクイLINE@を活用した情報発信、抽選会等のキャンペーンに加え、異業種交流会や大手キャッシュレス決済事業者等と連携した企画を実施することで、オールフクイの認知度向上を図るとともに、オールフクイLINE@の会員獲得に努めました。</p> <p>会員登録数は目標を下回りましたが、オールフクイによる共同事業を支援したほか、連携する商業者や企業の拡大に努めた結果、新たにふくい嶺北連携中枢都市圏内の商業者が加盟するなど、今後さらに本市の商業を活性化するため、組織を強化することができました。</p> <p>来年度は、様々な企業・事業者と連携している組織の強みを生かし、市内外に広くオールフクイの取組を発信するとともに、消費者にとって魅力的な企画を継続して実施することで、会員登録数の増加を図り、市内商業者の商圈維持・拡大に繋がります。</p>		

2	企業立地の促進	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>福井市企業立地戦略に基づき、本市の産業の発展に資する効果的な企業立地施策に取り組みます。県外企業に対し、東京事務所と連携して展示会への出展や企業訪問を行うなど、様々な機会を活用して本市の強みを発信し誘致を図るとともに、市内企業に対しても、企業との情報交換や関係強化に努め、規模拡大に対応した企業立地を推進します。</p> <p>また、支援制度について、社会経済の動向や人口減少等の課題に対応するための見直しを行います。</p>		
取 組 内 容	<p>企業立地支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業に対する支援制度の情報発信（各種業種の組合等に対する情報発信の強化） ・市外企業が本市へ進出する際の空き工場及び空きオフィス、土地等に関する相談対応 ・企業立地に伴う土地利用調整にかかる市及び県関係部署との協議 ・企業立地助成金等の活用に向けた企業との協議及び企業立地支援指定 <ul style="list-style-type: none"> * 企業立地支援指定数：15 件 ・空き工場、空きオフィス登録に向けた不動産会社等との協議・調整及び企業への情報発信 <ul style="list-style-type: none"> * 空き工場新規登録：2 件 ・支援制度の見直し（助成率の変更、重点促進区域等の設定） <p>企業訪問等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問による情報交換や立地意向の把握：443 社（県外：60 社、県内 383 社） ・「企業立地フェア」（5月22～24日、東京ビッグサイト）：PRブース出展 65 社面談 ・「福井市応援隊 第7回ミーティング」（6月）：企業誘致PR等 ・立地意向アンケート調査（7月）：662 社（対象業種：運輸業、精密機械製造業） ・立地意向アンケート調査結果に基づく企業への情報提供と関係強化 ・「北陸技術交流テクノフェア2019」（10月）：支援制度の周知 ・就職説明会（随時）：採用状況の情報収集等 		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>企業立地支援指定数</p> <p>： 14 件（平成30年度）</p> <p>15 件（令和元年度）</p>		<p>企業立地支援指定数</p> <p>： 15 件</p>	
<p>企業の状況把握のための訪問数</p> <p>： 432 社（平成30年度）</p> <p>440 社（令和元年度）</p>		<p>企業の状況把握のための訪問数</p> <p>： 443 社</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>福井市企業立地戦略に基づき、製造業、成長産業、物流関連産業等の企業を中心に、積極的な企業訪問により本市の強みや支援制度のPRを行うなど、企業立地の取組を進めた結果、全ての数値指標を達成しました。</p> <p>また、社会経済の動向や人口減少等の課題に対応するため、重点促進区域等への産業の集積を図るとともに、新規雇用者や税収の増加につながるよう支援制度を見直し、令和2年4月の指定分から運用を開始します。</p> <p>今後も、企業ニーズに応じた産業用地を確保するため、関係部局と連携して土地利用調整を行うとともに、空き工場や中心市街地オフィスなどの既存ストックを活用しながら、企業立地を推進します。</p>		


3	高付加価値のものづくり・販路開拓の支援	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>新たな価値の創出のため、ふくい嶺北連携中枢都市圏内の中小企業者の連携を促し、新製品開発や新事業創出の支援を行います。</p> <p>本市の基幹産業である繊維産業については、新技術、新製品の開発や海外への販路開拓の取組に対して、重点的な支援を行います。</p> <p>また、慢性的となっている中小企業者の人手不足の解消や生産性の向上を図るため、若手人財育成のための懇談会の実施や設備投資の促進を行います。</p> <p>さらに、市内企業の優れた製品や技術力を紹介するため立ち上げた「福井市ものづくり企業縁活サイト」については、サイトの充実を図るとともに、企業訪問時に登録を呼びかけるなど、積極的な活用を促進します。</p>		
	取 組 内 容	<p>先端設備等導入計画の認定件数：98件 新事業創出支援件数：7件 ・新事業創出支援事業：5件（30年度まで採択：4件、元年度採択：1件） ・テキスタイルマテリアル・グローアッププロジェクト：2件（30年度まで採択：2件）</p> <p>繊維関連販路開拓支援事業 ・海外の大規模テキスタイル展「ミラノ・ユニカ」を始めとする欧米での商談支援 出展企業：2社（2/4～6開催（ミラノ）） 輸出実務やトレンドなどのセミナー開催による実務支援や海外コーディネーターを活用した現地アパレルとのマッチングによる商談支援を実施</p> <p>ふくい企業若手人財育成懇談会 ・中小企業の中核を担う若手人材を対象に、部下育成力やITに関するセミナーを2回に渡り実施（第1回参加者16社25名 第2回参加者14社30名）</p> <p>ものづくり企業縁活サイト登録企業数：169件 ・案内文の送付、企業訪問や産業展示会テクノフェアなどにおいて働きかけ</p>	
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>生産性向上に資する設備投資への支援：100件 新技術、新製品の開発に対する支援件数（累計） ：6件（平成30年度） 8件（令和元年度）</p> <p>繊維関連事業者の国内外での販路開拓に係る商談成立件数 ：8件（平成30年度） 10件（令和元年度）</p> <p>ふくい企業若手人財育成懇談会の実施 ：2回</p> <p>ものづくり企業縁活サイト登録企業件数 ：149件（平成30年度） 200件（令和元年度）</p>	<p>生産性向上に資する設備投資への支援：98件 新技術、新製品の開発に対する支援件数（累計） ：7件</p> <p>繊維関連事業者の国内外での販路開拓に係る商談成立件数 ：12件</p> <p>ふくい企業若手人財育成懇談会の実施 ：2回（のべ30企業）</p> <p>ものづくり企業縁活サイト登録企業件数 ：169件</p>		
成 果 ・ 課 題	<p>生産性向上に資する設備投資への支援については、目標をやや下回りました。来年度は先端設備等導入計画の認定事業の周知を強化し、積極的な設備投資を促します。</p> <p>新事業創出支援事業については、3件応募がありましたが、審査の結果1件のみの採択となり、継続の6件と合わせ、7件の支援となりました。今後も、企業同士の連携を促進しながら新製品開発や新事業創出を支援していきます。</p> <p>繊維関連販路開拓支援事業については、国内で6件、海外で6件の商談成立となりました。今後も取引が継続するよう、フォローアップを行っていきます。</p> <p>企業間の連携強化と企業の若手人材の知識や視野の拡大を目的に、「ふくい企業若手人財育成懇談会」を2回実施し、人材の強化とイノベーションの創出につなげました。</p> <p>ものづくり企業縁活サイトについては、企業訪問や産業展示会において登録を呼びかけましたが、目標は達成できませんでした。来年度も引き続き、登録企業に対して有益な情報を発信するなど、サイトの内容の充実を図り、登録企業数の増加に取り組みます。</p>		


4	起業者創出の促進	達成度																																								
実 行 内 容																																										
目 標	<p>本市における産業の活力を高めるため、創業の動きを活性化していく必要があることから、福井市創業支援等事業計画に基づき、認定連携創業支援等事業者や市内金融機関等との連携を強化し、創業者のステージに応じた継続的な支援を図ります。</p> <p>また、ビジネスプランコンテストを開催し、創業機運を醸成するとともに、提案されたビジネスプランの実現に向けて、関係機関と連携した支援を行います。</p> <p>さらに、事業承継については、税理士等の専門家を対象とする実践的なセミナーの開催や、事業承継ネットワークや県事業引継ぎ支援センターとの連携を密にすることにより相談体制の充実を図るなど、事業承継の推進に向けた取組の充実に努めます。</p>																																									
	取組内容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 60%;">市内での創業者</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">96人</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>・福井市熱意ある創業支援事業補助金の利用件数</td> <td style="text-align: right;">2件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・福井市創業支援資金の利用件数</td> <td style="text-align: right;">13件</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">福井市創業支援等事業計画</td> </tr> <tr> <td>・新規認定連携創業支援等事業者 (福井東商工会、福井北商工会、福井西商工会)</td> <td style="text-align: right;">3者</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">ビジネスプランコンテスト</td> </tr> <tr> <td>・5/23～9/21 プラン募集</td> <td style="text-align: right;">応募：106件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・7/6～9/5 ビジコン・ミーティング</td> <td style="text-align: right;">開催：4回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・12/21 最終選考会</td> <td style="text-align: right;">来場数：150人、グランプリ2名(一般、学生)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">事業承継相談</td> </tr> <tr> <td>・前年度から加入した福井県事業承継ネットワークの連絡会議等に参加し、各機関との連携を強化</td> <td style="text-align: right;">8件</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">事業承継セミナーの開催</td> </tr> <tr> <td>・土業(税理士、企業診断士、行政書士等)金融機関を対象 延べ59人(8/26：20人、9/25：23人、10/25：16人)</td> <td style="text-align: right;">3回</td> <td></td> </tr> </table>			市内での創業者	96人		・福井市熱意ある創業支援事業補助金の利用件数	2件		・福井市創業支援資金の利用件数	13件		福井市創業支援等事業計画			・新規認定連携創業支援等事業者 (福井東商工会、福井北商工会、福井西商工会)	3者		ビジネスプランコンテスト			・5/23～9/21 プラン募集	応募：106件		・7/6～9/5 ビジコン・ミーティング	開催：4回		・12/21 最終選考会	来場数：150人、グランプリ2名(一般、学生)		事業承継相談			・前年度から加入した福井県事業承継ネットワークの連絡会議等に参加し、各機関との連携を強化	8件		事業承継セミナーの開催			・土業(税理士、企業診断士、行政書士等)金融機関を対象 延べ59人(8/26：20人、9/25：23人、10/25：16人)	3回
市内での創業者		96人																																								
・福井市熱意ある創業支援事業補助金の利用件数	2件																																									
・福井市創業支援資金の利用件数	13件																																									
福井市創業支援等事業計画																																										
・新規認定連携創業支援等事業者 (福井東商工会、福井北商工会、福井西商工会)	3者																																									
ビジネスプランコンテスト																																										
・5/23～9/21 プラン募集	応募：106件																																									
・7/6～9/5 ビジコン・ミーティング	開催：4回																																									
・12/21 最終選考会	来場数：150人、グランプリ2名(一般、学生)																																									
事業承継相談																																										
・前年度から加入した福井県事業承継ネットワークの連絡会議等に参加し、各機関との連携を強化	8件																																									
事業承継セミナーの開催																																										
・土業(税理士、企業診断士、行政書士等)金融機関を対象 延べ59人(8/26：20人、9/25：23人、10/25：16人)	3回																																									
数 値 指 標																																										
目 標		結 果 ・ 成 果																																								
<p>市内での創業者数 ： 91人(平成30年度) 100人(令和元年度)</p> <p>事業承継相談件数 ： 6件(平成30年度) 8件(令和元年度)</p>		<p>市内での創業者数 ： 96人</p> <p>事業承継相談件数 ： 8件</p>																																								
成 果 ・ 課 題	<p>市内での創業者数については、企業の採用意欲が高い状況が続いており目標を下回る結果となりました。来年度は、福井市創業支援等事業計画における関係機関との更なる連携強化により創業の促進を図ります。</p> <p>事業承継については、県事業承継ネットワーク、県事業引継ぎ支援センターとの連携強化を図っており、当該機関での相談、支援を推進しています。本市においては、税理士などの専門家を対象としたセミナーを開催し、事業者を適切にサポートできるよう体制の充実を図ります。</p> <p>また、来年度は、創業支援機関、事業承継支援機関と連携し、創業希望者と後継者がいない事業者のマッチングを図り、地域経済の発展を図ります。</p>																																									

5	農商工連携の推進	達成度	
実行内容			
目標	<p>市内百貨店において「おいしいふくい大博覧会」を継続して開催し、「ふくいの恵み」認定商品を始め、ふくい嶺北連携中枢都市圏内の特産品の認知度向上を図るとともに、東京事務所・農林水産部と連携した首都圏での物産展の実施などにより、福井の食の普及、振興に取り組みます。</p>		
取組内容	<p>認定加工品等の周知、販売促進を図るため、「おいしいふくい大博覧会」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：西武福井店 6階催事場 ・開催期間：5/29(水)～6/3(月) ・事業者数：30社(うち、認定事業者12社) ・売上額：14,657千円 <p>ふくい嶺北連携中枢都市圏内の特産品プレゼント企画の実施</p> <p>物産展への出店等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/6 ふくい桜満喫フェスティバル ・4/10～15 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク物産展 in 新潟三越 ・6/15～16 宇宙フェスタ IN ふくい ・6/25 特定地域振興重要港湾物産展 ・7/30～8/5 福福館 17市町PRコーナー ・9/1～30 福井県アンテナショップでの福井市フェア ・9月～ 西武・そごうネットショッピングサイトでの福井特産ページ開設 ・12/26～31 日本橋三越物産展(東京)福福館(市町PRブース) ・3/3～9 福福館 17市町PRコーナー <p>おいしいふくい条例のPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記物産展等においておいしいふくい条例のPR <p>共立女子大学との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/22 「ふくいの恵み」を用いた卒業演習 ・7/26～7/27 福井市視察 		
数値指標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>市内百貨店での物産展の開催 : 6月</p> <p>「ふくいの恵み」認定商品販売額 : 297,760千円(平成30年度) 350,000千円(令和元年度)</p>		<p>市内百貨店での物産展の開催 : 6月</p> <p>「ふくいの恵み」認定商品販売額 : 265,054千円</p>	
成果・課題	<p>「おいしいふくい大博覧会」は、これまで5回開催してきた実績を踏まえながら、来場者にとって魅力的な企画の実施やレイアウトの工夫により、認定商品及び福井の食の普及・振興を着実に進めることができました。</p> <p>県外での販路拡大については、東京事務所・農林水産部との連携により、前年度に引き続き日本橋三越本店での商品販売を実施し、首都圏における販路拡大の取組を定着させることができました。来年度も北陸新幹線福井開業に向け継続して取り組んでいきます。</p> <p>また、本市と連携協定を締結している共立女子大学とは、ふくいの恵み認定事業者が直接大学に赴いての卒業演習や、福井への視察が実現する等、実際に福井の食に触れてもらう機会を多く作ることができました。今後も、様々な機会を通し、県外への福井の食のPRを強く推進し、販路拡大に向けて幅広く取り組みます。</p>		


6	金融・経営支援の充実	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>中小企業の健全な経営をサポートするため、経営専門指導員が市内中小企業を訪問し、財務管理の方法や良好な資金繰りについて出張講座を実施します</p> <p>また、金融機関等との情報交換により、中小企業を取り巻く環境や個別の経営動向を把握しながら、企業が利用しやすいよう融資制度の充実を図ります。</p>		
取 組 内 容	<p>金融機関及び経済団体等との情報交換の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内金融機関、支援機関、経済同友会等と情報交換や融資制度周知（36回） <p>中小企業者への出張講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内中小企業への事業の周知を図り、出張講座による経営支援を実施（2件） 		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>市内中小企業への出張講座件数：5件</p> <p>金融機関及び経済団体等との情報交換回数 ： 35回（平成30年度） 35回（令和元年度）</p>		<p>市内中小企業への出張講座件数：2件</p> <p>金融機関及び経済団体等との情報交換回数 ： 36回</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>米中貿易摩擦や深刻な人手不足、10月からの消費税引き上げ、さらには中東危機など、中小企業を取り巻く環境は依然厳しく、日々変化していくため、金融機関及び経済団体等と定期的に情報交換を行って経済状況を適切に把握し、融資制度の検証、見直しに活用しています。また、新型コロナウイルス感染症による中小企業等への影響が急速に広がり、緊迫した情勢となっていることから、金融機関や経済団体等と密に情報を交換し、必要な対策を講じています。今後も、関係機関との連携を深め、中小企業等の現状に応じて、融資や利子補給など早急に対応していきます。</p> <p>市内中小企業への出張講座については、財務管理方法や資金繰りを中心に実施しました。市政広報や市ホームページで市内企業に対し、周知を図りましたが、浸透が十分ではなかったことや、講座による効果をしっかりと伝えられなかったことから、件数は2件にとどまりました。</p> <p>今後は、金融の経験や知識が不足しがちな小規模企業等に対し、経営専門指導員が出張講座を行うことで、健全な経営に向けての支援を引き続き行っていくと同時に、当事業の目的や効果について、広く企業に知ってもらうため、市政広報やHP、メーリングリストやSNS等による更なる周知を図っていきます。</p>		


・ 中心市街地における商機能等を充実し、賑わいの創出を図ります


7	まちなかにおける民間主体の賑わいづくりの促進	達成度	
実 行 内 容			
目 標	まちなか全体の賑わいを高めるため、都市利便増進協定に基づき、まちづくり福井株式会社が運営するまちなか公共空間「ソライロテラス」の企業・団体等による利用促進を図ります。また、ハピリンや新栄テラスなどとの連携を強化することで、来街者の回遊性の向上につなげていきます。		
取 組 内 容	<p>まちなか公共空間「ソライロテラス」における、オープンテラスの開設（4/7～11/24の毎週日曜）</p> <p>ダンスイベントやマルシェ、屋台販売など企業・団体等による利用（件数11件、のべ32日間）</p> <p>ONE PARK FESTIVAL 2019の関連イベント「福井駅前フードフェス」による利用（7/7）</p> <p>「ソライロテラス」認知度向上及び利用促進のための広報 ・5/10号広報紙への拡大記事の掲載</p>		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>企業・団体等によるソライロテラスの利用件数 ： 30件</p> <p>歩行者・自転車通行量（中央1丁目） ： 40,000人</p>	<p>企業・団体等によるソライロテラスの利用件数 ： 11件</p> <p>歩行者・自転車通行量（中央1丁目） ： 35,781人</p>		
成 果 ・ 課 題	<p>平成30年度に締結した都市利便増進協定に基づき、まちづくり福井株式会社が主体となってまちなかの公共空間を「ソライロテラス」と称し、オープンテラスの開設や、企業・団体の利用促進を行いました。</p> <p>今年度は、中央公園で開催された音楽フェス「ONE PARK FESTIVAL」に関連したイベントに利用されたほか、ハピテラスのサテライト会場としても利用されるなど、各団体等との連携を強化することで、まちなか全体の回遊性向上につながりました。そのほか、マルシェやダンスイベントなど、企業・団体によるイベントに活用されましたが、福井駅前南通り西側の優良建築物等整備工事によってガレリアポケットの一部が占用され、イベントに利用しづらくなっていること、また、工事によって周辺エリアへの来街者が減少していること等の影響があり、利用件数、通行量とも目標に到達できませんでした。</p>		

8	リノベーションによるまちづくりの推進	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>老朽化した遊休不動産を有効活用し、地域の価値向上を図るリノベーションによるまちづくりを推進するため、リノベーション事業の担い手を育成する実践型ワークショップ「ディスカバリー福井2019」を開催し、地域の魅力向上に資する出店につなげます。</p>		
取 組 内 容	<p>ディスカバリー福井 事前説明会の開催（6/8）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手育成実践型ワークショップセミナー「ディスカバリー福井」の開催に先立ち、事前説明会を実施（参加者：59人） <p>関係人口を募集する「福井とつながるセミナー」（東京会場 6/21）において、ディスカバリー福井の参加者を募集（参加者：45人 受講生：1名決定）</p> <p>福井工業大学公開講座（7/27）において、リノベーションによるまちづくりの事例紹介とともに、ディスカバリー福井の参加者を募集（参加者：162人）</p> <p>「ディスカバリー福井2019」の開催（9～11月に全3回のべ7日間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講生 リノベーションコース15人（5人×3チーム）、メディアコース4人 ・内容 第1回（9/7、8）まち歩きやデータ分析によるエリアの課題抽出 第2回（10/12、13）リノベーションコースが3チームに分かれて事業計画策定 第3回（11/2、3）中間プレゼンテーションと講評による事業計画の磨き上げ 最終日（11/4）公開プレゼンテーション（参加者：125人） <p>ディスカバリー福井で策定された事業計画の事業化に向けたサポートの実施</p> <p>データブック「リノベーション未来ノート vol.2」の制作・発刊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 ディスカバリー福井2019の講座の様子 まちなかに関する各種調査データ 受講生により策定された事業計画 等 		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>まちなか地区におけるリノベーションの件数（累計）：13件（平成30年度） 15件（令和元年度）</p>		<p>まちなか地区におけるリノベーションの件数（累計）：15件</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>まちなか地区におけるリノベーションについては、新栄商店街で同一のオーナーにより開業した飲食店2件により、目標の15件を達成することができました。これにより、新栄商店街には新たな人の流れが生まれ、周辺エリアの活性化に繋がっています。</p> <p>今年度実施した、実践型リノベーションまちづくり講座「ディスカバリー福井2019」では、福井だけでなく東京でも広報を行ったことにより、リノベーションを活発化させる都市人材の参画に結びつけることができました。また、福井工業大学の公開講座において受講生を募集することで、まちづくりに関心がある学生の参加にも繋がりました。</p> <p>さらに、今回は公共空間の利活用を含めた事業提案を行ったことで、メディアにも大きく取り上げられ、リノベーションによるまちづくりの認知度が高まりました。</p> <p>来年度は、策定された事業計画の実現に向けたサポートを続けるとともに、引き続き開催する「ディスカバリー福井」に熱い起業家マインドを持った都市人材を広く全国から集め、リノベーションによる出店に繋げていきます。</p>		


・ U・Iターン就職の促進や就労機会の創出を図るとともに、仕事と家庭が両立できる雇用環境づくりを推進します

9	U・Iターン就職の促進	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>学生に対するU・Iターン就職促進事業として、市内企業で働く魅力について考える機会を提供するため、ふくいU・Iターンサマーキャンプ、企業訪問ツアー、県との共催で合同企業説明会を開催します。また、保護者の意見が学生の就職活動に与える影響が大きいことから、保護者を対象とした個別相談会を開催します。</p> <p>社会人に対する事業として、移住を検討している家族を対象に、企業訪問や生活環境の紹介を組み合わせたツアーを開催します。また、U・Iターン者を雇用する企業に対し雇用奨励金を支給し、U・Iターン就職を促進します。</p> <p>これらの事業の広報や参加者募集を強化するため、就職支援サイト「ふくいおしごとネット」を活用した周知に加え、東京事務所やハローワークなど関係機関と連携するほか、就職支援協定を締結した大学との積極的な連携に取り組みます。</p>		
取 組 内 容	<p>学生向け事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内：合同企業説明会・面接会開催（6月・9月・12月）3月コロナウイルス対策で中止 ・県外： コロナウイルス対策で中止 ・ふくいU・Iターンサマーキャンプの開催（8/26～30 5日間） ・企業訪問ツアーの開催（3月） <p>保護者向け事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者のための個別就活相談会の開催（7月～3月 全6回開催） <p>社会人向け事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人U・Iターン就職支援ツアー「週末就活」の開催（6月～3月 20回） ・U・Iターン就職者正規雇用奨励金 4件 ・U・Iターン相談会（8月・1月） <p>情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おしごとネット」による情報発信及び東京事務所U・Iターンアドバイザーによる周知広報 		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>U・Iターン就職促進事業を利用して就職した学生及び社会人の数</p> <p>： 63人（平成30年度） 65人（令和元年度）</p>		<p>U・Iターン就職促進事業を利用して就職した学生及び社会人の数</p> <p>： 55人</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>首都圏を中心に雇用需要は高い水準にあり、学生の就職環境は「売り手市場」となっています。また、就職先についても待遇条件の良好な都市部の大手企業への就職志向が高まっていることに加え、大学が独自に企業を招いての説明会を開催していることや企業が実施するインターンシップの充実などにより、学生が個別に企業研究する機会が増えていることから、事業への参加者は伸び悩んでいます。</p> <p>社会人への就職支援では、単に企業への再就職を支援するだけでなく、本市の強みである住みやすい生活環境や子育て環境、充実した教育環境をご家族に理解してもらう事業を実施しています。今年度は22組のU・Iターン就職希望者とそのご家族の参加があったものの、目標には達しませんでした。</p> <p>U・Iターン就職を実現させるには継続的な支援が必要なため、これまでの参加者に対し、市内企業や移住に関する情報を発信していくなどのアフターフォローに努めます。また、東京事務所、福井労働局や県Uターンセンターと連携しながら、都市部において市内企業や本市の強みを十分に発信し事業参加者の増加を目指します。加えて、就職決定に大きな影響を与える保護者の相談支援にも取り組みながら、引き続きU・Iターン就職を促進していきます。</p>		


10	就労機会の創出	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>出産・育児後に再就職を目指す女性や、就職・転職を希望する障がい者の就職を実現させるため、就職支援セミナーや、ハローワーク福井と連携したミニ面接会を開催します。また、地元就職を後押しするため、県内大学生と経営者や若手社員との交流会を大学キャンパス内で開催します。さらに、高齢者の能力を活かすため福井市シルバー人材センターへの事業支援や、企業における高齢者の活用に関するセミナーを実施します。</p>		
取 組 内 容	<p>県内大学生と経営者や若手社員との交流会の開催（福井大学：7月・12月、仁愛大学：1月）</p> <p>若者のための就職相談会の開催（8回）</p> <p>就職支援セミナー（子育てママ再就職応援コース）の開催（1月）</p> <p>就職支援セミナー（障がい者コース）の開催（10月）</p> <p>マザーズコーナー（ハローワーク）におけるミニ面接会の開催（5月）</p> <p>シルバー人材センターへの支援</p> <p>雇用奨励金 64件</p> <p>立地企業に対するミニ面接会の開催（3回）</p> <p>企業における高齢者の活用に関するセミナー等の開催（10月）</p>		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>就職支援事業を利用して就職した若者及び女性の数 ： 91人（平成30年度） 110人（令和元年度）</p> <p>シルバー人材センター会員の就業率 ： 77.8%（平成30年度） 79.0%（令和元年度）</p> <p>キャンパス出張交流会 ： 2大学</p>		<p>就職支援事業を利用して就職した若者及び女性の数 ： 111人（令和元年度）</p> <p>シルバー人材センター会員の就業率 ： 79.0%（令和元年度）</p> <p>キャンパス出張交流会 ： 2大学</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>求職者に対する支援として、就職に不安のある若者向けの相談会、障がい者等を対象とした就職支援セミナー、ハローワーク福井と連携したミニ面接会等を開催しました。企業に対しては、新たな取り組みとして独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構との共催で高齢者雇用の活用事例などを企業に紹介するセミナーを開催しました。また、障がい者等の雇用を支援する奨励金の交付制度等を通して、多様な就業機会を支援した結果、目標の就職者数を達成しました。</p> <p>シルバー人材センター会員の就職率については、市政広報での紹介や市役所窓口設置などを通して支援した結果、目標の就業率を達成しました。</p> <p>キャンパス出張交流会は、県内大学生の地元就職を支援するため、福井大学文京キャンパス及び仁愛大学において開催しました。地元企業6社、参加学生56人が参加し、企業の経営者や若手社員から企業概要や強み等のプレゼン及び座談会や、学生から企業へ自主活動のPRを行うなどリラックスした雰囲気での交流会が行われ、参加企業及び学生の双方から高評を得ました。</p> <p>来年度は、これまでの取組に加えた新たな事業として、高校生を対象に「働く（福井の企業）」と「学び（希望学部）」を組み合わせたイベント事業を展開し、将来の地元就職に繋げていきます。</p>		


11	働き方改革（ワークライフバランス）の推進	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>働き方改革（ワークライフバランス）の重要性や必要性について事業主の理解を深めるため、雇用管理セミナーや、中小企業雇用促進相談員による企業訪問を実施します。</p> <p>また、働きやすい職場環境実現のため、育児・介護と仕事の両立や、働き方改革に取り組んだ中小企業に対し奨励金を交付します。</p>		
取 組 内 容	<p>働き方改革取組等推進企業応援奨励金 10件</p> <p>育児応援企業養成奨励金 3件</p> <p>ワークライフバランスセミナーの開催（7月）</p> <p>社会保険労務士会に対する周知（6月）</p> <p>おしごとネット登録企業に対する周知（6月）</p> <p>中小企業雇用促進相談員による企業訪問での周知</p> <p>県と連携した高齢者就職面接会の開催（12月）</p>		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>ワークライフバランス推進事業による支援企業数 ：54件（平成30年度） 60件（令和元年度）</p>		<p>ワークライフバランス推進事業による支援企業数 ：60件</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>働き方改革の推進については、あいおいニッセイ同和損害保険(株)との共催による、働き方改革の重要性の理解を深めるワークライフバランスセミナーの開催、今年度から始まった働き方改革への積極的な取組や育児・介護と仕事の両立に取り組んだ市内中小企業に奨励金を交付するなどの結果、目標を達成することができました。</p> <p>来年度も引き続き関係機関と連携しながら、意識啓発等に取り組む、働き方改革に取り組む企業を支援していきます。</p>		


・公営競技事業において新たな顧客の獲得と収益確保に努めます


12	競輪事業の継続	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>特別競輪第4回ウィナーズカップ in 福井（G）が来年3月に開催されることから競輪場への来場や新規ファンの獲得を促進するため、ショッピングセンターや中心市街地での出向宣伝、各種イベント等を積極的に実施し、PRに努めます。</p> <p>全国の競輪施行者との連携をさらに強化しながら、場間場外発売の相互協力関係の充実に努め、車券売上額の向上を図ることで収益を確保し、本市への確実な繰出を目指します。</p> <p>また、建物ごとの安全性の検証や施設規模の検討等、施設改修計画の策定に向けた調査、研究を進めます。</p>		
取 組 内 容	<p>【競輪開催業務等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本場開催（福井市主催）13節40日（G：1節4日、F：6節18日、F：6節18日） ○ミッドナイト競輪開催4節12日（福井市主催：奈良競輪場を借上げ） ○特別競輪第4回ウィナーズカップ（G）3月26日（木）～29日（日） ○車券総売上額：102億855万円 ○競輪事業収益向上対策協議会で場外発売の要請活動を実施 7月：立川・静岡競輪場、9月：平塚・松戸競輪場 <p>【新規顧客獲得及びファンサービス・PR等の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふくいおとな博に競輪ブース設置（県産業会館：5月25日（土）・26日（日） ・競輪場で利用できる食堂利用券（500円）を119人に配布（利用者40人） ○ファミチャリフェスタ開催（小学生低学年対象の自転車初乗り教室） ○ふくいけいりんフェスタ（よさこい杯）開催（初心者車券購入教室を同時開催） ○電投者向けキャンペーンで最高10万円をキャッシュバック（当選者1人） ○特別競輪第4回ウィナーズカップ（G）の出向宣伝を、ショッピングセンターパリオ、ショッピングセンターベル及び福井駅西口で実施 <p>【施設改修計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○競輪場内施設の安全性や施設規模等の検証並びに施設改修計画策定に向けた調査の実施 ○競輪事業収益向上対策協議会で要請活動を兼ね施設改修状況を視察 2月：小松島・高松競輪場 		
数 値 指 標		結 果 ・ 成 果	
目 標	結 果 ・ 成 果		
一般会計への繰出金：150,000千円	一般会計への繰出金：0円（見込み）		
成 果 ・ 課 題	<p>政府の新型コロナウイルス感染症対策本部における方針を受け、2月27日から全国的に無観客開催及び本場と場外の車券発売が中止となりました。</p> <p>この影響により、福井競輪場で6年ぶりの開催となるGグレードの車券売上額は25億4千万円で目標額65億円に対し60.9%減となり、また、2月下旬以降に予定していた場外発売も中止となった影響等もあり、一般会計への繰出金を確保することができませんでした。</p> <p>来年度につきましては、引き続き場外発売支援及び協力を得るため、関東・南関東地区の競輪場を訪問し要請活動に努めます。</p>		


.() 食や自然・歴史など福井らしさで観光客を増やします

13	新 観光振興計画の改定	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>北陸新幹線福井開業を観光誘客や観光産業振興の拡大の好機として確実に捉え、万全の体制で迎えるために、観光振興計画を前倒しで改定します。</p> <p>観光によるまちづくりの推進や交流人口・関係人口の拡大、地域経済の活性化につなげるため、福井の魅力や情報を首都圏等に強力に発信する戦略的な観光プロモーションやイベント等の実施を盛り込んだ具体的な計画とします。</p>		
取 組 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回策定委員会実施(8月29日) ○第2回策定委員会実施(9月17日) ○第3回策定委員会実施(10月8日) ○庁内検討、調整(11月~1月) ○第4回策定委員会実施(12月26日) ○第5回策定委員会実施(1月9日) ○パブリックコメント公募(2月20日~3月9日) ○第6回策定委員会実施(3月3日) ○福井市「新・観光振興計画」策定(3月下旬) 		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
観光振興計画の改定		福井市「新・観光振興計画」の策定	
成 果 ・ 課 題	<p>計画策定に向けて実施した「首都圏における観光消費マーケティング調査」において、約8割が福井の観光地を知らないとの結果が出たことから、旅先としての福井の認知度やイメージの向上及び若年層の取り込みが課題として浮かび上がりました。</p> <p>福井を旅先としてイメージできるよう北陸新幹線の「発地」である首都圏での情報発信や観光プロモーション、「着地」である福井での受入環境整備やおもてなしの向上などを柱に委員会での議論を重ね、令和2年4月からの5年間を計画期間とする『新・観光振興計画』を策定しました。</p> <p>今後は、同計画に基づき「ふくい嶺北連携中枢都市圏」の中心都市として圏域全体の情報発信、観光誘客に取り組むとともに、連携中枢都市圏市町をはじめ、県、企業、そして市民が一体となった「オール福井」でのおもてなしを強化するなど、発地(首都圏や関西・中京など)と着地(福井)それぞれの観光施策を充実します。</p>		


14	観光産業の振興	達成度	
実行内容			
目標	<p>広域観光周遊ルートの構築や戦略的なプロモーション等を行うため、ふくい嶺北連携中枢都市圏の他市町と連携しながら、圏域全体への観光誘客に取り組みます。</p> <p>コンベンション誘致については、拡充された開催助成金制度を活用するとともに、文化施設を活用したコンベンションの提案など、今後も継続して誘致活動に注力していきます。</p> <p>体験交流型観光については、市、JR西日本、福井商工会議所が協働し実施している「福井旅の体験手帖 ふくのね」と連携しながら、滞在時間の延長につながる体験交流型観光メニューの充実を図り、市内宿泊者数、市内観光消費額の拡大を目指します。</p>		
取組内容	<p>学生合宿補助件数 合宿申請団体数 230件 延べ人数 12,605人 教育旅行 北海道上砂川中学校（19人）来訪（5月14日～5月17日） 福井県コンベンション誘致促進会議（11月26日） 体験プログラム開発事業 ふくのね vol.4 説明会・ワークショップ（5/22～23 中計4回 延べ60人） ふくのね vol.4 ブラッシュアップワークショップ（6/4 計2回 延べ15人） ふくのねセッション vol.3 クロージング&vol.4 キックオフ（9/10 88人） ふくのね vol.5 説明会（10/17～19 中計7回 延べ54人） ふくのね vol.5 ワークショップ（11/1～2 中計4回 延べ10人） ふくのね vol.5 ブラッシュアップワークショップ（11/12 延べ10人） ふくのねセッション vol.4 クロージング&vol.5 キックオフ（感染拡散防止のため開催中止）</p>		
数値指標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>観光客入込数（連携中枢都市圏域内） ： 2,341万人</p> <p>体験交流型観光メニュー数 ： 41個（平成30年度） 43個（令和元年度）</p> <p>市内宿泊者数 ： 74万人（国体除く）（平成30年） 75万人（令和元年）</p> <p>市内観光消費額 ： 272億円（国体除く）（平成30年） 274億円（令和元年）</p> <p>市内コンベンション開催件数 ： 103件（平成30年度） 140件（令和元年度）</p>	<p>観光客入込数（連携中枢都市圏域内） ： 2,359万人（見込み）</p> <p>体験交流型観光メニュー数 ： 63個</p> <p>市内宿泊者数 ： 78万人</p> <p>市内観光消費額 ： 294億円</p> <p>市内コンベンション開催件数 ： 88件</p>		
成果課題	<p>一乗谷朝倉氏遺跡が全国放送番組で取り上げられたことや、本市の文化財が日本遺産に認定されたこと、さらに、GWが大型10連休となったこともあり、観光客入込数、市内宿泊者数、市内観光消費額が増加しました。</p> <p>体験交流メニューは、福井商工会議所と新たな事業者の掘り起こしを行い、JR西日本福井支店が発行する「福井旅の体験手帖ふくのね」のメニュー化に繋がりました。今後は、連携中枢都市圏の事業者や観光協会と連携し、旅行会社への提案などによる体験メニューの商品化に取り組み、成功例を作っていくことで、更なるメニュー造成に繋がります。</p> <p>コンベンションの開催については、福井国体関連のコンベンションが開催された前年度と比較すると件数減となりましたが、引き続き開催助成金制度を広くPRして誘致に努めます。</p>		

15	「一乗谷」への観光誘客と一乗谷朝倉氏遺跡の保存管理	達成度	
実行内容			
目標	<p>日本で唯一、戦国期の城下町跡がそのまま残る日本最大の中世都市遺跡「一乗谷朝倉氏遺跡」のイメージアップを図るため、一乗谷ディスカバリープロジェクトメンバー等による情報発信を進めます。</p> <p>一乗谷観光客入込数は、新幹線金沢開業効果もあり平成 27 年度には大幅に増加しましたが、開業効果が薄れてきたことから、新たな取組等を行い、今年度 90 万人を目指します。</p> <p>具体的には、ファミリー層や女性を対象とした「熱気球係留バルーン」、「ヨガ」などの体験型イベントを実施するほか、来年度の大河ドラマの主人公、明智光秀を奉った明智神社と一乗谷朝倉氏遺跡を効果的にPRするリーフレットを作成し、明智神社と一乗谷朝倉氏遺跡を繋げるモニターツアーを実施します。</p> <p>さらに、福井駅と遺跡とを結ぶ一乗谷朝倉特急バスの利用者へ、時代衣装を着用した無料定時ガイドを実施します。</p> <p>また、「福井・永平寺周遊滞在型観光推進計画」に基づく酒蔵周遊事業の拡充や、一乗谷・永平寺のライトアップ事業などを実施するとともに、一乗谷朝倉特急バスの通年運行により二次交通の充実を図ることで、一乗谷・永平寺エリア全体の魅力向上につなげます。</p> <p>併せて、一乗谷朝倉氏遺跡の重要な遺構を後世まで保存するため、適切に維持管理していきます。</p>		
	取組内容	<p>一乗谷朝倉特急バス利用者 14,432 人 無料定時ガイド利用者数 5,697 人 「一乗谷朝倉氏遺跡バーチャルガイド」利用者 759 件 越前朝倉糸桜まつり開催(4月7日) 入込数 2,000 人 越前朝倉曲水の宴(5月5日) 入込数 5,000 人 一乗谷スカイランタン(6月8・9日) 参加者数 964 人 朝倉サマーイベント 参加者数 2,281 人 越前朝倉戦国まつり・越前朝倉万灯夜(8月24・25日) 入込数 40,000 人 全国山城サミット可児大会での出向宣伝 一乗谷・東郷魅力体感ツアー(まち歩き)(8回) 一乗谷朝倉特急バス内へのガイド乗車(4月28日~5月6日、3月7日~3月29日<土日祝のみ>) バーチャルガイド割引券の配布(7~9月) 利用者数 51 人 朝倉トレイルラン 2019(9月15日) 参加者数 681 人 戦国城下町生活再現事業(4月28日~5月6日、9月14日~29日<土日祝のみ>) 朝倉氏遺跡活用推進協議会</p> <p>○BS日テレ「三宅裕司のふるさと探訪」を誘致(3月10日放送) 酒蔵周遊事業(7~3月)嶺北エリアの各市町と連携し、ガイドブック「御酒飲帳」を8,000部作成</p>	
数値指標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
一乗谷観光客入込数 : 72 万人(平成 30 年) 90 万人(令和元年)		一乗谷観光客入込数 : 106 万人	
成果課題	<p>一乗谷観光客入込数については、昨年 2 月にNHKの番組であるプラタモリで取り上げられたこと、GWが 10 連休であったことのほか、無料定時ガイドや熱気球係留バルーン搭乗体験等の新しい取組を実施したことなどにより、前年と比較して大きく増加しました。また、酒蔵周遊「御酒飲帳」事業では、新たに坂井・あわらエリア、丹南エリアとも連携し、参加酒蔵を増やすことで、事業の魅力を高め、観光誘客へと繋げました。</p>		
	<p>来年度には、明智光秀を主人公とするNHK大河ドラマ「麒麟がくる」で越前編が放映されることもあり、一乗谷の魅力積極的に発信し、旅行商品造成に繋げるとともに、パフォーマーを配置するなどのおもてなしを充実させます。</p> <p>遺跡の保存管理としては、復原町並の防災棟屋根や消防設備等を修繕しました。また、御所・安養寺跡の説明板を更新しました。今後も遺跡を後世まで保存するため、適切に維持管理していきます。</p>		


16	「まちなか」への観光誘客	達成度																																														
実 行 内 容																																																
目 標	<p>「ふくい桜まつり」や「福井フェニックスまつり」、春と秋の「愛宕坂灯の回廊」、JR福井駅周辺で開催される「第32回宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)」などのイベントを活かしたまちなかへの観光誘客を推進し、交流人口の増加を目指します。</p> <p>また、北陸新幹線福井開業に向けて、桜まつりの灯りの演出など、夜間景観の魅力向上にも積極的に取り組みます。</p> <p>足羽山については、新鮮な情報を引き続きホームページやSNSで発信するとともに、市民と協働して足羽山の魅力を伝えるイベントを開催して、誘客を推進します。</p>																																															
取 組 内 容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>ふくい桜まつり</td> <td>3月30日～4月14日</td> <td>入込数 233,000人</td> </tr> <tr> <td>足羽川桜並木ライトアップ</td> <td>3月30日～4月14日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>福井駅西口さくら色ライトアップ</td> <td>3月30日～4月14日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>足羽川桜並木イルミネーション</td> <td>3月30日～4月14日</td> <td>新明里橋～幸橋 区間</td> </tr> <tr> <td>春の愛宕坂灯の回廊</td> <td>3月30日～4月14日</td> <td>入込数 6,081人</td> </tr> <tr> <td>あすわ桜遊山</td> <td>3月30日～4月14日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第32回ISTS</td> <td>6月15日～6月21日</td> <td>参加者数 1,071人 入込数 5,800人</td> </tr> <tr> <td>福井フェニックスまつり</td> <td>8月2日～8月4日</td> <td>入込数 141,900人</td> </tr> <tr> <td>足羽山イベント開催</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>足羽山モックイックスクール(ステップ : 触れる・感じる)</td> <td>7月23日</td> <td>参加者数 28人</td> </tr> <tr> <td>足羽山モックイックスクール(ステップ : 想像して創る)</td> <td>9月28日</td> <td>参加者数 23人</td> </tr> <tr> <td>足羽山モックイックスクール(ステップ : 考えて学ぶ)</td> <td>2月23日</td> <td>参加者数 45人</td> </tr> <tr> <td>養浩館庭園 春のお茶席</td> <td>4月13日～5月6日の土日祝</td> <td>参加者数 743人</td> </tr> <tr> <td>秋のお茶席</td> <td>10月19日～11月4日の土日祝(10月22日は除く)</td> <td>参加者数 443人</td> </tr> <tr> <td>秋のライトアップ</td> <td>9月27日～11月24日の土日祝、祝前日 (台風のため1日中止)</td> <td>入込数 1,327人</td> </tr> </table>			ふくい桜まつり	3月30日～4月14日	入込数 233,000人	足羽川桜並木ライトアップ	3月30日～4月14日		福井駅西口さくら色ライトアップ	3月30日～4月14日		足羽川桜並木イルミネーション	3月30日～4月14日	新明里橋～幸橋 区間	春の愛宕坂灯の回廊	3月30日～4月14日	入込数 6,081人	あすわ桜遊山	3月30日～4月14日		第32回ISTS	6月15日～6月21日	参加者数 1,071人 入込数 5,800人	福井フェニックスまつり	8月2日～8月4日	入込数 141,900人	足羽山イベント開催			足羽山モックイックスクール(ステップ : 触れる・感じる)	7月23日	参加者数 28人	足羽山モックイックスクール(ステップ : 想像して創る)	9月28日	参加者数 23人	足羽山モックイックスクール(ステップ : 考えて学ぶ)	2月23日	参加者数 45人	養浩館庭園 春のお茶席	4月13日～5月6日の土日祝	参加者数 743人	秋のお茶席	10月19日～11月4日の土日祝(10月22日は除く)	参加者数 443人	秋のライトアップ	9月27日～11月24日の土日祝、祝前日 (台風のため1日中止)	入込数 1,327人
ふくい桜まつり	3月30日～4月14日	入込数 233,000人																																														
足羽川桜並木ライトアップ	3月30日～4月14日																																															
福井駅西口さくら色ライトアップ	3月30日～4月14日																																															
足羽川桜並木イルミネーション	3月30日～4月14日	新明里橋～幸橋 区間																																														
春の愛宕坂灯の回廊	3月30日～4月14日	入込数 6,081人																																														
あすわ桜遊山	3月30日～4月14日																																															
第32回ISTS	6月15日～6月21日	参加者数 1,071人 入込数 5,800人																																														
福井フェニックスまつり	8月2日～8月4日	入込数 141,900人																																														
足羽山イベント開催																																																
足羽山モックイックスクール(ステップ : 触れる・感じる)	7月23日	参加者数 28人																																														
足羽山モックイックスクール(ステップ : 想像して創る)	9月28日	参加者数 23人																																														
足羽山モックイックスクール(ステップ : 考えて学ぶ)	2月23日	参加者数 45人																																														
養浩館庭園 春のお茶席	4月13日～5月6日の土日祝	参加者数 743人																																														
秋のお茶席	10月19日～11月4日の土日祝(10月22日は除く)	参加者数 443人																																														
秋のライトアップ	9月27日～11月24日の土日祝、祝前日 (台風のため1日中止)	入込数 1,327人																																														
数 値 指 標																																																
目 標		結 果 ・ 成 果																																														
<p>まちなか観光客入込数 : 173万人(国体除く)(平成30年) 175万人(令和元年)</p> <p>観光案内所案内人数 : 74,961人(国体除く)(平成30年度) 75,000人(令和元年度)</p>		<p>まちなか観光客入込数 : 193万人</p> <p>観光案内所案内人数 : 74,338人</p>																																														
成 果 ・ 課 題	<p>ふくい桜まつりでは、令和5年の北陸新幹線福井開業に向けて、福井駅西口さくら色ライトアップ、足羽川桜並木ライトアップ区間の延長、足羽山での新たな花見の場の提供など、春の宵の魅力が堪能できるよう、夜間景観の魅力向上と市内滞在時間の延長に取り組みました。</p> <p>JR福井駅から徒歩圏内にある養浩館庭園では、春と秋のお茶席や秋のライトアップの開催、足羽山では親子で楽しむことができる足羽山モックイックスクールを開催するなど、まちなかのにぎわい創出を図りました。</p> <p>また、昨年2月に一乗谷朝倉氏遺跡とともにまちなかがNHKの番組「プラタモリ」で取り上げられ、さらに大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公である明智光秀にゆかりの地としても本市が注目を集めていることもあり、まちなかへの入込数(1～12月)が伸びたと考えられます。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、観光案内所の案内人数(4～3月)は目標値に届きませんでした。</p>																																															

17	「越前海岸」への観光誘客	達成度	
実行内容			
目標	<p>北陸新幹線福井開業に向け、越前海岸の伝統行事や風習、越前がに、水仙畑をはじめとする四季の風景を撮影したプロモーション動画やポスターを活用し越前海岸の魅力を情報発信するとともに、海開きにあわせた集客イベントを実施して、越前海岸への誘客につなげます。</p> <p>引き続き、地域で観光のまちづくりに取り組む団体を支援し、若者と連携することで、越前海岸の豊富な地域資源を活かした体験交流型観光メニューの造成に取り組みます。</p> <p>さらに、日本海ならではの景観や新鮮な食、伝統行事などは、周辺市町や地元観光団体と連携した取組を行うことで、越前海岸エリア全体の魅力向上につなげていきます。</p>		
	取組内容	<p>越前海岸海水浴ポスター・リーフレット作成</p> <p>観光まちづくり組織へ体験交流型観光メニュー造成の支援（4月～）</p> <p>海の探検博覧会開始（6月～）</p> <p>越前水仙魅力向上事業（6～12月）</p> <p>越前海岸の魅力情報発信（8、12月）</p> <p>出向宣伝などでの営業等（結城、美濃）</p> <p>越前海岸モニターツアーの開催（1月11、12日）</p> <p>水仙まつり（12月14日～1月20日：福井会場1月11、12日）</p> <p>福井市、越前町、南越前町の3市町による合同出向宣伝（東京、大阪、名古屋）</p>	
数値指標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>越前海岸の体験交流型観光メニュー数</p> <p>： 6個（平成30年度）</p> <p>7個（令和元年度）</p> <p>越前海岸観光客入込数</p> <p>： 41万人（平成30年）</p> <p>50万人（令和元年）</p>		<p>越前海岸の体験交流型観光メニュー数</p> <p>： 7個</p> <p>越前海岸観光客入込数</p> <p>： 39万人</p>	
成果・課題	<p>近年のアウトドアブームもあり、ガラガラ山キャンプ場の利用者は前年度を上回っています。</p> <p>新たな取組として越前海岸（越前地区）のイメージ動画を作成し、関西方面へPRしただけでなく、モニターツアーに参加した県外の若者によるSNS投稿などを通して、今まで越前海岸の情報に触れることの少ない層への情報発信を行いました。</p> <p>また、日本海の景観を楽しむウォーキングツアーの旅行商品化に取り組むとともに、越前町、南越前町と連携した日本海の食をPRする「浜の活井事業」では、新たな協力事業者の掘り起こしを行い、内容の充実を図りましたが、海水浴離れや異常気象などの影響もあり越前海岸全体の入込数は減少しました。</p>		


.() 福井の魅力を磨き、市民や観光客が福井の魅力にふれる機会を増やします


18	おもてなしの心の醸成	達成度	
実行内容			
目標	<p>本市を訪れる多くの観光客が「再び訪れたい」と思うような観光のまちづくりを進めるため、おもてなしの心の醸成や観光関連事業者等の資質向上を図り、観光客を温かく親切に迎える「観光おもてなし市民運動」を市民総ぐるみで進めます。</p> <p>北陸新幹線福井開業を見据え、本市への更なる観光誘客やリピーターの増加を図り、国体・障スポで醸成された「おもてなしの機運と活動」に磨きをかける取組が必要となるため、タクシー乗務員をはじめ、観光事業者を対象とした講習会や研修会を行います。</p> <p>また、おもてなし運動推進の牽引役となる「観光おもてなしマイスター」向けの研修も実施し、マイスターの観光知識及びお客様対応力のレベルアップを図ります。あわせて、歴史ボランティア「語り部」など観光ガイドの活動を引き続き支援し、新たなガイドルートの開発や、市民や観光客が福井の歴史を学ぶことができる機会を増やします。</p>		
取り組みの形	<p>おもてなしの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光おもてなし市民運動推進会議 : 5月28日 ・おもてなし講習会(連携中枢都市圏) : 6月24日、7月9日(全2回142人受講) ・観光おもてなしマイスター実践力向上研修 : 7月9日、8月5・6日、9月19日 <p>歴史ボランティアバンク「語り部」の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語り部研修 : まち歩き17回、座学10回 <p>観光ボランティア北陸大会(福井開催) : 9月24日</p> <p>おもてなしの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー乗務員のためのおもてなし接客術研修 : 11月11日(19人受講) ・観光おもてなし市民運動推進会議 : 2月4日 ・感動おもてなし大賞表彰式 : 3月1日 		
数値指標			
目標		結果・成果	
<p>福井市を訪れて良かったと感じた人の割合</p> <p>: 93.4%(平成30年度)</p> <p>94.0%(令和元年度)</p> <p>「語り部」による案内人数</p> <p>: 10,512人(平成30年度)</p> <p>11,200人(令和元年度)</p>		<p>福井市を訪れて良かったと感じた人の割合</p> <p>: 94.4%</p> <p>「語り部」による案内人数</p> <p>: 10,662人</p>	
成果・課題	<p>おもてなし講習会では、今年度から対象者を連携中枢都市圏域11市町に広げて開催し、142人が受講しました。参加した市町でも、おもてなし運動の機運が高まるなど、オール福井で県外観光客を迎えるきっかけとなりました。観光おもてなしマイスター向けの実践力向上研修では、今までに認定したマイスターにトップリーダーになっていただくための実地研修や観光地研修を実施しました。</p> <p>オール福井でのおもてなしの機運を高めるため、今年度から「観光おもてなし体験だより」の募集を連携中枢都市圏に拡大して実施しました。そのうち、福井市を訪れて良かったと感じた人の割合は94.4%となりました。</p> <p>今後も、おもてなしの機運を高められるよう、さらなる運動を進めてまいります。</p> <p>「語り部」による案内人数については、新型コロナウイルス感染拡大による予約キャンセルもあり、目標には届きませんでした。今後も語り部サービスを広く周知し、観光満足度の向上につなげます。</p>		

.() 様々なツールによる情報発信を行い、福井の知名度やイメージの向上に努めます


19	観光情報の発信	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>観光パンフレット、テレビや新聞等の情報発信に加え、首都圏の駅で福井のPRポスターの掲出を行い、観光誘客を図ります。</p> <p>また、ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の市町と緊密に連携することで、ホームページ、フェイスブック、インスタグラムなどでの情報発信の強化を図るとともに、フィルムコミッション事業によるテレビや映画などの撮影支援を通して、ふくいの魅力発信を行います。</p> <p>県外での出向宣伝や営業では、イベント参加者や旅行会社、出版社に福井の旬な情報を提供するとともに、旅行関係事業者との人的ネットワークを構築することで、福井の認知度向上や旅行ニーズの把握、旅行商品の造成につなげます。特に首都圏での営業は、東京事務所と連携を密にして取り組みます。</p>		
	取 組 内 容	<p>○福井市観光ガイド&マップ 36,000部増刷</p> <p>○福井市観光ガイド&マップ設置 市内宿泊施設、県内外観光案内所、道の駅などに設置</p> <p>○SNSによる情報発信 インスタグラムアカウント「福井市おもてなし観光推進課」 116回 フェイスブック「いごこち満点!ふくい」 126回 フェイスブック「朝倉ゆめまる」 22回</p> <p>○出向宣伝、旅行会社や出版社への営業、商談会の参加 143回(東京・大阪・名古屋など)</p> <p>○フィルムコミッション 問い合わせ58件、撮影実績22件</p> <p>○観光ポスター掲出 掲出駅:長野駅、大宮駅、上野駅</p>	
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>観光関連新聞記事の掲載面積 : 66,725 cm² (平成30年度) 67,000 cm² (令和元年度)</p> <p>出向宣伝や旅行会社への営業、商談会への参加 : 158回(平成30年度) 170回(令和元年度)</p> <p>インスタグラム等SNSでの情報発信回数 : 250回</p>		<p>観光関連新聞記事の掲載面積 : 60,379 cm²</p> <p>出向宣伝や旅行会社への営業、商談会への参加 : 143回</p> <p>インスタグラム等SNSでの情報発信回数 : 264回</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>観光関連新聞記事の掲載について、前年度にはあった全国放送のドラマや映画の撮影がなかったことに加え、新型コロナウイルスの影響もありイベントを中止するなどしたため、例年と比較すると面積が減少しました。</p> <p>出向宣伝や旅行会社への営業では、長野豪雨など自然災害等に伴うイベントの中止及び新型コロナウイルス感染拡大に伴う出向宣伝の中止により、目標を達成することができませんでした。</p> <p>インスタグラム等のSNS発信についてはイベント情報などを積極的に発信したため、目標を達成することができました。</p> <p>北陸新幹線福井開業、中部縦貫自動車道全線開通という100年に一度の好機を3年後に控え、来年度も引続き、本市の認知度向上及びイメージアップを図れるよう、新聞掲載に繋がる情報提供やインスタグラムを始めとしたSNSによる本市の魅力発信を続けながら、商談会や営業などによる旅行会社等との連携を強化していきます。</p>		


.()多文化共生の地域づくりに取り組むとともに、インバウンド誘客の強化を図るための環境を整備し情報発信を進めます


20	国際交流の活用と多文化共生のまちづくり	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>市やふくい市民国際交流協会が行う姉妹友好都市交流事業や多文化共生事業を通して、市民の国際理解を深めるとともに、改正入管法の施行により、さらに外国人労働者の増加が見込まれることから、コミュニケーション支援や生活支援に努め、日本人市民も外国人市民も安心して暮らせる地域づくりを進めます。</p> <p>また、杭州市との友好都市提携 30 周年を記念した行政訪問団、市民訪問団の相互訪問により、人的交流や経済交流の拡大を目指します。</p> <p>さらに、福井市国際文化交流大使（FCA）が、本市の観光拠点を中心とした地域との交流の中で国際理解を進めるとともに、観光資源の取材も行いながら、SNSにより本市の魅力国内外に発信していきます。</p>		
	取 組 内 容	<p>福井市国際文化交流大使（FCA）事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公私立の保育園、幼稚園、認定こども園で国際理解教室を開催（通年） ・地域活動への参加 湊、順化、東郷、森田、越廼、国見、殿下地区（7地区） ・SNSによる市の魅力情報発信（通年 インスタグラム・フェイスブック 115回） <p>多文化共生の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバルフェスタ（多文化祭）開催（6/8） ・福井市防災訓練への外国人参加促進 東安居地区で実施（6/23） ・市職員を対象に多文化共生に関する研修（やさしい日本語の活用）を実施（9/25） ・福井市多文化共生推進プラン（第3次）を改定（3月） <p>国際交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・杭州青少年芸術団交響楽団を受入（7/14～15） ・フラトン市ジュニア大使を受入（7/10～17） ・杭州国際都市市長フォーラムへの参加、30周年記念行事の現地打合わせ（9/3～7） ・ニューブランズウィック市ジュニア大使を受入（11/2～6） ・杭州市代表団を受け入れ（11/29～30） 	
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>市及びふくい市民国際交流協会が実施する国際交流事業等への市民の参加者数</p> <p>： 6,141人（平成30年度） 6,300人（令和元年度）</p> <p>福井市国際文化交流大使（FCA）の地域活動派遣</p> <p>： 6地区（平成30年度） 7地区（令和元年度）</p>		<p>市及びふくい市民国際交流協会が実施する国際交流事業等への市民の参加者数</p> <p>： 6,350人</p> <p>福井市国際文化交流大使（FCA）の地域活動派遣</p> <p>： 7地区</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>国際交流事業等への市民の参加者数等については、6月に開催したグローバルフェスタ（多文化祭）で昨年以上の集客があったことなどから、目標を達成できました。グローバルフェスタでは、外国人市民に対して、多文化共生推進プラン改定に向けたアンケート調査を実施するとともに、防災や生活に関する情報を周知するなどし、例年以上に有意義な取組ができました。今年度はこうした取組から、外国人市民の現状とそれに伴う課題を把握した上で、第3次の多文化共生推進プランを策定しました。今後、このプランに基づき、さらに増加が見込まれる外国人市民と日本人市民の多文化共生に取り組んでいきます。</p> <p>FCAの地域活動派遣については、7地区の住民と地域の活動に参加しました。今後も定期的、継続的に地域活動に積極的に参加していきます。</p>		


21	インバウンド誘客の強化	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>外国人観光客を本市に呼び込むため、親日家が多く、訪日リピーター率も高い台湾を対象に旅行博への出展や営業活動を行うとともに、WEBでの情報収集が主流となっている現状をふまえ、台湾でよく利用されている観光情報サイトで情報発信を行い本市の知名度を向上させ、誘客につなげます。併せて、外国人観光客の受入環境を整備するため、ふくい嶺北連携中枢都市圏を通じて、通訳ボランティアの育成や、市内事業者のメニュー、パンフレットの外国語表記支援や無線LAN環境整備の支援に連携して取り組みます。</p>		
	取 組 内 容	<p>台湾向け営業 ・「福井県台湾商談会」(参加旅行社52社) 台北・台中市内旅行会社営業4社(5/28~31) ・「台北国際旅行博」出展、台北市内旅行会社営業10社(11/6~10)</p> <p>台湾向け情報発信 ・台湾最大規模の日本観光情報サイト「楽吃購(ラーチーゴ-)!日本」に体験記事を掲載(12月~)</p> <p>通訳ボランティア育成 ・通訳ボランティア育成講座 全5回(5/18、6/29、9/21、10/19、11/16) 131人参加 ・福井の歴史文化通訳研修事業 全3回(10/26、11/9、11/30) 29人参加 ・英語でおもてなしボランティア活動体験(11/30) 22人参加</p> <p>インバウンド人材育成 ・本市事業者に向けた、インターネットでの情報発信や外国人誘客方法等のセミナー実施(10/29)</p> <p>外国語表記支援、無線LAN設置支援 ・観光関連施設等を訪問し、各施設での外国人観光客の受入れに関する情報収集を行うとともに、支援内容を周知(駅周辺を中心に112件) ・外国語表記支援事業補助金の活用 3件</p>	
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>外国人宿泊者数(市調査) : 22,800人(平成30年) 24,000人(令和元年)</p> <p>通訳ボランティア育成事業の参加者数 : 161人(平成30年度) 170人(令和元年度)</p>		<p>外国人宿泊者数(市調査) : 25,400人</p> <p>通訳ボランティア育成事業の参加者数 : 182人</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>訪日外国人の誘客については、台北市内で行われた商談会(事業者向け、福井県観光連盟主催)、台北国際旅行博(一般人向け)や、併せて行った台北、台中の旅行代理店訪問により、観光PRを行ったほか、台湾最大規模の日本観光情報サイト「楽吃購(ラーチーゴ-)!日本」での情報発信などを行い、外国人宿泊者数の目標を達成しました。</p> <p>外国人観光客の受入環境整備では、通訳ボランティアの育成や、観光関連施設等に向けた環境整備の支援事業を実施しました。通訳ボランティア育成事業については、ふくい市民国際交流協会等と連携しながら、近年関心が高い体験メニューの通訳等も行い、実践に生かせる講座を実施し、目標を達成しています。また、環境整備の支援事業では、駅周辺を中心に飲食店や小売店等を100件以上個別に訪問し、支援内容を周知するとともに、現状把握に努めました。</p>		
	<p>福井に訪れる外国人観光客が多くない現状では、インバウンドに向けた取組の必要性を感じないという事業者の意見も聞かれましたが、北陸新幹線開業までに着実に受入環境を整備できるよう、引き続き取り組んでいきます。</p>		

・()文化芸術活動を支援するとともに、文化や歴史、自然を活用した観光誘客を進めます


22	文化芸術活動の交流促進と文化会館の設備整備	達成度																				
実行内容																						
目標	<p>市民が文化的な環境の中で生きる喜びを見出せるよう、文化会館等での芸術鑑賞や体験事業の充実を図るとともに、福井市文化協会が主催する福井市民文化祭の開催や各種文化団体の活動を支援し、市民の誇りとなる文化芸術を振興します。</p> <p>また、文化会館の舞台調光装置を整備するとともに、築50年が経過した会館の状態を確認するため調査を実施し、その結果に基づき、今後の施設利用の方針を決定します。</p>																					
	取組内容	<p>文化活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第30回童謡の日さわやかコンサートの実施（7月6日 来場者：1,089人） ・文化協会「絵画教室 養浩館庭園を描く」 小4～中3対象（7月20日 参加者：14人） 大人対象（9月1日 参加者：8人） ・文化協会「子どもお茶席体験講座」（10月31日、11月6日、8日 参加者：3小学校 57人） ・文化協会「福井市民文化祭」（11月3、4日 参加者：5,216人） ・文化奨励賞授与式（11月3日 受賞者：3人） <p>文化会館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台調光装置の整備（8月） ・文化会館老朽化調査（6月～10月） ・文化会館施設利用の方針決定 （令和2年度末にて閉館、3年度よりフェニックス・プラザを代替施設とする 2月17日発表） （参考）文化会館の入館者数（単位：人） 																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>上半期</th> <th>下半期</th> <th>内、2・3月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>40,065</td> <td>47,984</td> <td>15,670</td> <td>88,049</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>42,189</td> <td>31,994</td> <td>3,125</td> <td>74,183</td> </tr> <tr> <td>対前年度比</td> <td>5.3%</td> <td>33.3%</td> <td>80.1%</td> <td>15.7%</td> </tr> </tbody> </table>			上半期	下半期	内、2・3月	合計	平成30年度	40,065	47,984	15,670	88,049	令和元年度	42,189	31,994	3,125	74,183	対前年度比	5.3%	33.3%	80.1%	15.7%	
	上半期	下半期	内、2・3月	合計																		
平成30年度	40,065	47,984	15,670	88,049																		
令和元年度	42,189	31,994	3,125	74,183																		
対前年度比	5.3%	33.3%	80.1%	15.7%																		
数値指標																						
目 標		結 果 ・ 成 果																				
<p>福井市民文化祭参加者数 ： 5,558人（平成30年度） 7,200人（令和元年度）</p> <p>文化会館利用者数 ： 88,049人（平成30年度） 100,000人（令和元年度）</p>		<p>福井市民文化祭参加者数 ： 5,216人</p> <p>文化会館利用者数 ： 74,183人</p>																				
成果課題	<p>福井市民文化祭については、田原町商店街と連携したスタンプラリーや体験コーナーは前年の参加者数を越えましたが、文化祭全体では目標を達成することができませんでした。</p> <p>来年度は、スタンプラリーや体験コーナーの一層の充実を図るとともに、広報の強化に努め目標の達成を目指します。</p> <p>文化会館利用者数については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月、3月はホール利用がキャンセルになり、指定管理者による自主事業も中止したため、前年度実績を下回りました。</p> <p>また、文化会館については老朽化調査を実施した結果、令和2年度末で閉館するとともに、フェニックス・プラザを代替施設とする方針を決定しました。今後は、文化会館で行われていた行事が、閉館後も滞りなくフェニックス・プラザで実施できるよう準備を進めます。</p>																					

23	まちなか文化施設の魅力向上と情報発信	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>養浩館庭園では、地元住民やボランティア、関係団体との協働により、お茶席や伝統文化をテーマとした体験事業、夜間のライトアップなどを実施し、庭園の魅力向上を図ります。また、団体旅行客を対象としたお茶席を旅行会社と企画し、県外からの誘客を強化します。</p> <p>愛宕坂茶道美術館は、開館 20 周年を迎えることから、記念講演会や特別展、さらに愛宕坂周辺施設と連携したお茶席などのイベントを実施し、茶道文化の普及啓発及び入館者増加を図ります。</p> <p>橘曙覧記念文学館では、橘曙覧のほか足羽山や著名作家にまつわる企画展も開催し、入館者増加に取り組みます。</p> <p>グリフィス記念館では、文化団体や周辺施設に対し、イベントスペースとして利用を呼び掛けるとともに、撮影スポットとしての利用をPRし、まちなかのにぎわい創出に努めます。</p> <p>また、SNSを活用し、まちなか文化施設の最新情報を広く発信し、観光誘客を図ります。</p>		
取 組 内 容	<p>養浩館庭園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春・秋のお茶席 (4~5月、10~11月 21日間 参加者:1,186人) ・特別茶会(7月21日、9月16日、11月4日、19日 参加者:190人) ・特設茶席/旅行会社企画ツアー等(参加者:286人) ・秋のライトアップ(9月27日~11月24日の金土日祝・祝前日 入園者:1,327人) ・庭カフェ(10月15日~11月16日のうち平日を中心に25日間 参加者:901人) <p>愛宕坂茶道美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「夏は涼しく」(5月23日~8月19日 観覧者:2,823人) ・企画展「茶器と茶杓」(8月22日~11月25日 観覧者:2,542人) ・企画展「冬の訪れ」(11月28日~2月26日 観覧者:1,362人) ・開館20周年記念特別展「日本茶々茶 お茶紀行 振茶の里を訪ねて」(3月1日~5月10日) ・開館20周年記念イベント(10月5日~10月14日 参加者:208人) <p>橘曙覧記念文学館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「足羽山ヒストリー(前編・後編)」(5月16日~11月20日 観覧者:3,644人) ・新・収蔵品展2019「令和に伝わる曙覧の書」(12月7日~3月3日 観覧者:994人) ・企画展「作家と家族」(3月7日~4月26日) ・橘曙覧史跡めぐり(6月30日、9月29日 参加者:35人、28人) <p>グリフィス記念館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朗読会(6月27・29・30日、10月26日 参加者:117人) ・企画展「グリフィス日本史 -北ノ庄落城編-」(9月15日~10月14日 観覧者:607人) ・企画展「W.E.グリフィスと勝海舟」(2月22日~3月22日) ・グリフィス記念館で体験型科学実験(10月19日~10月20日 参加者:114人) 		
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>文化施設入場者数</p> <p>: 94,960人(平成30年度)</p> <p>114,360人(令和元年度)</p>		<p>文化施設入場者数</p> <p>: 84,180人</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>文化施設の入場者数は、夏の猛暑による養浩館庭園の入園者の減少や、新型コロナウイルス感染防止のためのイベント中止等の影響もあり、前年度を下回る結果になりました。</p> <p>一方で、養浩館庭園では、秋の庭カフェ期間を前年度より延長(15日 25日)し、利用者数も大幅に伸びました(391人 901人)。</p> <p>また、愛宕坂茶道美術館と橘曙覧記念文学館は連携イベントの開催により、入館者数が前年度より増加しました。</p>		

24	美術館企画展等の開催	達成度																										
実 行 内 容																												
目 標	<p>書画や陶芸、浮世絵など純粹美術の他、デジタル機器を多用した参加体験型や遊び心溢れるキャラクターの原画などを紹介し、世代を超えて気軽に芸術に親しめるよう、時代・地域・分野など美術の多様性を活かした魅力ある企画展を開催します。また、作品解説会やワークショップ等の関連イベントを多数開催して楽しめるようにするとともに、文化施設等と連携しながら広域的に情報発信を図り、観光誘客に努めます。</p>																											
	<p>アトリエ事業では、いつでも気軽に創造的な活動が行えるよう、生活と密着した創造性を養う新しいプログラムを開発して、子供から高齢者までが楽しめる機会を提供します。</p> <p>また、本市の美術文化の向上を図るため、「市美展ふくい」の開催や、各種団体に展示室等の貸出を行い、市民が芸術活動を発表できる機会を提供します。</p>																											
取組内容	<p>企画展の開催</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">「北大路魯山人展」</td> <td style="width: 30%;">6月1日～7月7日</td> <td style="width: 30%;">32日間</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">入場者数</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">6,821人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「魔法の美術館展」</td> <td>7月19日～9月1日</td> <td>40日間</td> <td style="text-align: right;">40,123人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「ウォーリーをさがせ!展」</td> <td>9月21日～11月4日</td> <td>40日間</td> <td style="text-align: right;">32,703人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「芳年 激動の時代を生きた鬼才浮世絵師展」</td> <td>令和2年2月22日～3月27日(2日間短縮)</td> <td>30日間</td> <td style="text-align: right;">2,012人</td> <td></td> </tr> </table>			「北大路魯山人展」	6月1日～7月7日	32日間	入場者数					6,821人		「魔法の美術館展」	7月19日～9月1日	40日間	40,123人		「ウォーリーをさがせ!展」	9月21日～11月4日	40日間	32,703人		「芳年 激動の時代を生きた鬼才浮世絵師展」	令和2年2月22日～3月27日(2日間短縮)	30日間	2,012人	
	「北大路魯山人展」	6月1日～7月7日	32日間	入場者数																								
			6,821人																									
「魔法の美術館展」	7月19日～9月1日	40日間	40,123人																									
「ウォーリーをさがせ!展」	9月21日～11月4日	40日間	32,703人																									
「芳年 激動の時代を生きた鬼才浮世絵師展」	令和2年2月22日～3月27日(2日間短縮)	30日間	2,012人																									
<p>子どもアトリエ</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>4月21日</td> <td>6月9日,23日</td> <td>7月7日</td> <td>8月3日,4日</td> <td>9月8日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10月13日</td> <td>11月17日</td> <td>12月8日</td> <td>1月26日</td> <td>3月8日(中止)</td> <td style="text-align: right;">計9講座開催</td> </tr> </table> <p>市民アトリエ</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>4月28日</td> <td>6月8日,22日</td> <td>7月15日</td> <td>8月24日,25日</td> <td>9月15日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10月6日,20日</td> <td>11月10日</td> <td>12月15日</td> <td>1月～3月(8日間)</td> <td></td> <td style="text-align: right;">計9講座開催</td> </tr> </table> <p>第32回市美展ふくい 5月17日～26日 10日間開催 3,531人</p>			4月21日	6月9日,23日	7月7日	8月3日,4日	9月8日		10月13日	11月17日	12月8日	1月26日	3月8日(中止)	計9講座開催	4月28日	6月8日,22日	7月15日	8月24日,25日	9月15日		10月6日,20日	11月10日	12月15日	1月～3月(8日間)		計9講座開催		
4月21日	6月9日,23日	7月7日	8月3日,4日	9月8日																								
10月13日	11月17日	12月8日	1月26日	3月8日(中止)	計9講座開催																							
4月28日	6月8日,22日	7月15日	8月24日,25日	9月15日																								
10月6日,20日	11月10日	12月15日	1月～3月(8日間)		計9講座開催																							
数 値 指 標																												
目 標		結 果 ・ 成 果																										
<p>企画展入場者数 ： 46,314人(平成30年度) 65,000人(令和元年度)</p> <p>子どもアトリエ開催数 : 9講座</p> <p>市民アトリエ開催数 : 9講座</p> <p>総入館者数 : 95,114人(平成30年度) 97,000人(令和元年度)</p>		<p>企画展入場者数 ： 81,659人</p> <p>子どもアトリエ開催数 : 9講座</p> <p>市民アトリエ開催数 : 9講座</p> <p>総入館者数 : 121,247人</p>																										
成 果 ・ 課 題	<p>企画展では、デジタルアートによる参加・体感型を始めとする、多彩なジャンルの作品を紹介することで観光誘客を図り、県内外から多くの方が訪れ、目標値を大幅に超える過去最高の入場者数となりました。関連イベントとして作品解説会や対談会を開催したほか、展示作品の人気投票や学芸員のおススメ作品のポップ掲示、また市内文化施設と連携したスタンプラリー等も行い、好評を得ました。</p> <p>アトリエでは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、3月開催の子どもアトリエ「チョコのパレット」と福井大学との連携事業である「子ども美術館」を中止しましたが、そのほかの活動については、計画通り実施できました。市美展ふくいでは、部門に縛られない小さな作品展が人気であり、また審査員によるギャラリートークを毎日開催しました。</p> <p>総入館者数は、企画展入場者数が大幅に増えたことや、気軽に体験できるアトリエチャレンジの参加者数が増えたことなどにより、過去最高の入館者数となりました。</p>																											

25	郷土歴史博物館企画展等の開催	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>郷土の歴史や文化への誇りを育み発信できるよう、文献、考古、美術史という各分野から、地域の歴史や文化に関する魅力ある企画展を開催します。企画展では、全国的に注目度や話題性の高いテーマとすることで誘客に努めます。また福井市内の文化財を広く紹介し、市内の魅力発信を行っていきます。</p> <p>自然史博物館、美術館との合同イベントや養浩館を舞台にした講座の開催、学芸員が自ら展示解説するなど、広く深く文化に触れたり学んだりしたりする機会を提供し、まちなかの賑わいの創出や観光誘客の推進につなげます。</p>		
	取 組 内 容	<p>企画展の開催 入場者数 春季特別展「大安禅寺の名宝」(平成31年3月21日～5月6日 46日間 5,275人) 年度内 35日間 3,851人 夏季特別陳列(7月13日～8月25日 43日間) 5,338人 「ありがとう平成 - 博物館コレクションからみる明治～平成 - 」(7月20日～8月25日) 「東京1964～オリンピック展～」(7月13日～8月25日) 秋季特別展「將軍家茂と皇女和宮 - 行列が彩った二人の幕末 - 」 (10月12日～11月24日 43日間) 13,472人 春季特別展「明智光秀と越前 - 雌伏のとき - 」(令和2年3月20日～4月3日で中止 13日間) 年度内 10日間 1,270人 ロビー展示「日本遺産認定パネル展」(福井・勝山日本遺産活用推進協議会主催) (令和2年2月1日～3月27日で中止 50日間) 2,071人 ギャラリートーク(35回) 特別展・特別陳列 16回、松平史料展示室 13回、館蔵品ギャラリー6回、3月の開催予定を中止 資料審査委員会 7月、3月 計2回開催 審査資料件数 160点 ワークショップ らくらくこども博物館(夏・冬休み 15回) 夏休み歴史体験教室・おとなの歴史体験講座(11回) へんしん越前屋(週末・休日と春・夏・秋・冬休み) ミュージアム連携ワークショップ 講座等の開催 ミュージアムカレッジ(8回) 企画展関連講座・イベント(7回) 館長タイムリー講座・館長わくわく講座・学芸員連続講座(7回)</p>	
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
企画展の入場者数 : 26,065人(平成30年度) 26,200人(令和元年度) ギャラリートークの回数 : 35回(平成30年度) 37回(令和元年度) 総入館者数 : 84,810人(平成30年度) 85,000人(令和元年度) 収蔵資料数 : 41,048点(平成30年度) 41,200点(令和元年度)		企画展の入場者数 : 26,002人 ギャラリートークの回数 : 35回 総入館者数 : 61,160人 収蔵資料数 : 41,208点	
成 果 課 題	<p>企画展の入場者数は、日本遺産認定パネル展を受入れるなど工夫をしましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり目標を達成できませんでした。</p> <p>総入館者数は、大きく目標を下回りました。その原因は、ロビー利用や明治150周年関連行事等の減少分を、館員による講座の増加やロビーでのパネル展開催などで挽回をはかりましたが、及ばなかったことによります。</p> <p>収蔵資料数は目標を達成できましたが、ギャラリートークは新型コロナウイルス感染症対策として3月の開催を中止したことにより、目標を達成できませんでした。</p>		

26	自然史博物館企画展等の開催とセーレンプラネットの運営	達成度	
実 行 内 容			
目 標	<p>自然史博物館では、足羽山を訪れる市民や観光客に、周遊しながら楽しんでもらえるよう、足羽山ビジターセンターにおいて、足羽山の魅力を発信するとともに、福井の自然を楽しく知り、学べる博物館を目指します。</p> <p>セーレンプラネットでは、ドームシアターにおいて新たに制作した番組の投映、ハピリンや周辺施設、交通事業者等とイベント等での連携や、テレビ、新聞、雑誌、ウェブ等様々なメディアを利用して集客に努め、中心市街地のにぎわい創出や観光誘客につなげます。</p> <p>また、県内唯一の自然科学の総合博物館として、郷土の豊かな自然や天文について興味深く学べる機会を提供し、自然科学への関心を高めてもらえるよう、魅力ある企画展を開催します。</p>		
	取 組 内 容	<p>企画展の開催（本館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「色彩の自然史」（平成31年3月23日～6月2日）（年度内 4,639人） ・「自然のかがやき展 in ハピリンホール」（5月1日～4日）（1,453人） ・「美しき鳥の羽」（7月13日～9月29日）（5,250人） ・「大地を彩る石展」（令和2年3月20日～5月31日）（年度内 644人） <p>企画展の開催（セーレンプラネット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「七夕は晴れないって本当？」（6月22日～7月7日）（433人） ・「恐竜と宇宙」（7月13日～9月8日）（4,142人） ・「オーロラ写真展」（10月4日～11月4日）（1,526人） ・「銀河ワールドへようこそ」（11月15日～1月6日）（1,035人） ・日本星景写真協会写真展「星の風景2020」（2月22日～4月5日）（年度内 434人） <p>企業等訪問、バックヤードツアー等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然史博物館バックヤードツアー（足羽山動物園サマースクール）（7月20日）（19人） ・企業等訪問（3月27日 セーレン株、30日 県工業技術センター） 中止 ・JAL航空教室（セーレンプラネットドームイベント）（3月22日） 中止 	
数 値 指 標			
目 標		結 果 ・ 成 果	
<p>自然史博物館入場者数</p> <p>： 26,050人（平成30年度） 27,000人（令和元年度）</p> <p>セーレンプラネット入場者数</p> <p>： 107,047人（平成30年度） 127,000人（令和元年度）</p> <p>産学連携科学技術キャリア教育事業参加者数</p> <p>： 120人（平成30年度） 125人（令和元年度）</p>		<p>自然史博物館入場者数</p> <p>： 22,659人</p> <p>セーレンプラネット入場者数</p> <p>： 91,952人</p> <p>産学連携科学技術キャリア教育事業参加者数</p> <p>： 19人</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>自然史博物館の入場者数については、自然史講座や天体観望会等様々な行事、ハピリンホールでの展示等新たな取組のほか、足羽山ビジターセンターでは3,180人の利用がありましたが、夏季以降来場者が伸びなかったことや、新型コロナウイルス感染防止のため行事の中止もあり目標値を下回りました。引き続き、企画展、自然史講座等を実施するほか、足羽山ビジターセンターでの情報発信、展示の充実を行い誘客に努めます。</p> <p>セーレンプラネットの入場者数については、人気のあるドームイベントや文化施設と連携したワークショップの開催、移動天体観望会等を実施しましたが集客が伸びず、3月のイベントが中止になったこともあり、目標に達しませんでした。引き続き集客力のあるイベントや文化施設との連携したイベント等の実施のほか、積極的な広報活動、小中学校への営業活動を行うとともに、魅力ある番組の投映や展示の充実に努めます。</p> <p>産学連携科学技術キャリア教育については、3月の春休み期間中に企業訪問等を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため実施を見合わせたことにより、目標を大幅に下回りました。</p>		

27	観光と文化の連携強化	達成度	
実行内容			
目標	<p>地域に埋もれている特色ある歴史・文化財等を観光資源として活用するモニターツアーを実施します。</p> <p>また、市内 11 の施設に入館、入園できる共通観覧券「ふくミュージアムパス」のさらなる周知と利用拡大に努めるとともに、歴史・文化資源を紹介する多言語対応のホームページやVTRを活用し、国内外へ福井の魅力を発信することで、観光誘客を図ります。</p> <p>加えて、ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の市町と連携し、圏域内の魅力ある文化資源を発掘し情報発信するとともに、文化資源や文化芸術イベントを活用し観光誘客や交流人口の増加を図るなど、文化芸術の振興に取り組みます。</p>		
取組内容	<p>モニターツアーの実施（3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員とまわろう明智光秀と越前のつながり（6月22日 参加者15人） ・橘曙覧史跡めぐり～今庄編～（6月30日 参加者35人） ・橘曙覧史跡めぐり～三国編～（9月29日 参加者28人） ・博物館バックヤードめぐり「足羽山の博物館巡り」（3月28日 開催中止） <p>「ふくミュージアムパス」チラシの県内観光文化施設、公共交通機関への配架</p> <p>各施設合同による体験連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺跡で野鳥を探そう（11月3日 参加者15人） <p>○ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の市町との連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「めぐってみよう 福井県 11 市町の Treasure Place～お城編～」発刊 		
数値指標			
目標	結果・成果		
成果・課題	<p>歴史・文化資源を活かしたモニターツアーの実施 ： 3回（平成30年度） 4回（令和元年度） 文化資源活用パンフレットの作成</p> <p>歴史・文化資源を活かしたモニターツアーの実施 ： 3回 文化資源活用パンフレットの作成</p> <p>歴史・文化施設を活かしたモニターツアーを3回実施しましたが、3月に予定していたバックヤードツアー「足羽山の博物館巡り」を、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、目標達成に至りませんでした。モニターツアーについては、来年度も引き続き実施します。</p> <p>また、市内 11 の観光文化施設を巡ることができる「ふくミュージアムパス」については、県内観光文化施設をはじめ、市内宿泊施設や公共交通機関等にチラシを配架するとともに、旅行会社のツアー造成での活用を提案しました。</p> <p>さらに、ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の市町と連携し、圏域内の魅力ある文化資源を発掘し情報発信するため、今年度はお城にスポットをあてた文化資源パンフレット「めぐってみよう 福井県 11 市町の Treasure Place～お城編～」を発行しました。</p>		